

## 菊竹淳一教授退官記念特輯

<https://doi.org/10.15017/3637>

---

出版情報：哲學年報. 63, pp.1-7, 2004-03-05. Faculty of Humanities, Kyushu University  
バージョン：  
権利関係：



菊竹 淳一 教授 退官記念特輯



菊竹 淳一 教授

菊竹淳一教授 略歴

- 一九三九年一月 福岡県に生まれる
- 一九六三年三月 九州大学文学部哲学科卒業（美学・美術史専攻）
- 一九六五年三月 九州大学大学院文学研究科修士課程修了（同右）
- 一九六五年四月 九州大学助手（文学部 美学・美術史講座）
- 一九六五年九月 奈良国立博物館に転任
- 一九七九年八月 九州大学助教授に転任（文学部 美学・美術史講座）
- 一九八三年四月 九州大学文学部附属九州文化史研究施設勤務を兼任
- 一九九四年九月 九州大学教授（文学部 美学・美術史講座 大学院文学研究科）
- 一九九五年四月～二〇〇〇年六月 九州大学評議員
- 一九九八年七月～二〇〇〇年六月 九州大学文学部長、九州大学大学院文学研究科長
- 二〇〇〇年四月 九州大学教授大学院人文科学研究科に配置換する
- 二〇〇〇年四月～六月 九州大学大学院人文科学研究科長、九州大学大学院人文科学府長

菊竹淳一教授 業績目録

著書・編書

『聖徳太子絵伝』(蔵田蔵・石田茂作・源豊宗・上田英次)

東京美術 一九六九・一〇

『聖徳太子絵伝』

至文堂 一九七三・一二

『高麗仏画』(倉田文作・鎌田茂雄・上野アキ・吉田宏志・林進・早川聞多)

朝日新聞社 一九八一・二

『日本古版画集成』(倉田文作・兜木正亨・白畑よし・松本包夫・太田英蔵・広井雄一)筑摩書房

一九八四・五

『仏教版画』

至文堂 一九八四・七

『高麗時代の仏画』(井手誠之輔・鄭于澤)

ソウル・時空社 一九九六・一一

論文

宝典寺蔵文永四年銘木造阿弥陀如来像

大和文化研究 九八号 一九六六・六

元興寺町有の釈迦涅槃像

大和文化研究 一〇七号 一九六七・三

聖徳太子絵伝にみえる四季絵的要素

ミュージアム 二二六号 一九七〇・一

聖徳太子孝養画像の変遷

日本美術工芸 三七七号 一九七〇・二

九州の縁起絵

佛教藝術 七六号 一九七〇・七

対馬の彫刻

西日本文化 八三号 一九七二・七

対馬の朝鮮系仏教彫刻

日本にのこる朝鮮文化 一八号 一九七三・六

対馬・壱岐の朝鮮系彫刻

佛教藝術 九五号 一九七四・二

壱岐の仏像

日本美術工芸 四三二号 一九七四・三

敦煌の仏教版画

—大英博物館とパリ国立図書館の収蔵品を中心として—

佛教藝術 一〇一号 一九七五・四

対馬の朝鮮系仏像彫刻

『日本文化と朝鮮』第二集 新人物往来社 一九八〇・五

大仏以後の金銅仏

日本美術工芸 四五二号 一九八一・五

聖徳太子絵伝の図像的系譜

美術史 九九・一〇〇冊合併号 一九八一・七

室生寺剎塔とその造立背景

『室生寺剎塔の研究』中央公論美術出版 一九七六・一一

Estampes Bouddhiques Japonaises XII<sup>e</sup>~XVIII<sup>e</sup> siècles

MUSÉE CERNUSCHI 一九七七・一一

沓岐の朝鮮系仏教文物

『日本文化と朝鮮』第三集 新人物往来社 一九七八・三

鎌倉時代・室町時代の仏画と肖像画

『鎌倉・室町美術』大日本インキ化学工業創業七〇周年記念刊行 一九七八・三

鶴林寺太子堂の柱絵

美術史 一〇四冊 一九七八・三

『東征伝絵巻』について

『日本絵巻大成』一六 中央公論 一九七八・六

天平時代の芸術動向

『日本美術全集』五 学習研究社 一九七八・一〇

—仏画と工芸にみる国際感覚の受容と展開—

『対馬の美術』西日本文化協会 一九七八・一一

涅槃図の変遷—中央アジアから日本へ—

『涅槃会の研究—涅槃会と涅槃図—』綜芸舎 一九七九・五

能恵法師絵詞

『新修日本絵巻物全集』三〇 角川書店 一九八〇・六

普賢十羅刹女像の諸相

佛教藝術 一三二二号 一九八〇・九

日本人の美意識

『日本人—その思想と行動—』九州大学出版会 一九八二・二

高麗時代の来迎藝術の—遺例—香川・萩原寺の阿弥陀如来像

大和文華 七二号

一九八四・二

熊本県の彫刻

『熊本之美と心』

熊本日日新聞社

一九八四・六

大足宝頂山石刻の説話的要素

佛教藝術

一五九号

一九八五・三

寒巖義尹の周縁

佛教藝術

一六六号

一九八六・五

高麗時代観音画像の変遷

『東アジアの考古と歴史(上)』

同朋社

一九八七・一一

高麗仏考—西日本に伝存する作品による—

九州文化史研究所紀要

三三三号

一九八八・三

国分寺の彫刻

『周防国分寺』

山口県教育委員会

一九八八・三

高麗時代の涅槃変相図—香川・常德寺本を中心に—

大和文華

八〇号

一九八八・九

仏像の伝来と朝鮮半島

『奈良仏教』

新潮社

一九八九・三

日本仏教文化史・鎌倉時代

『仏教美術入門』

平凡社

一九八九・九

高麗時代の仏画

『古代の高麗と日本』

学生社

一九九〇・六

地蔵渡海—周防国分寺の地蔵十王像とその周縁—

山口県文化財

二〇、二一号

一九九〇・八

個人と国家の作善業—平安時代の仏教版画—

『日本美術全集』

七

講談社

一九九一・六

元興寺の仏教版画

『奈良元興寺仏教版画』

町田市立国際版画美術館

一九九二・二

祥瑞と隠遁の図像—天平時代絵画の系譜—

『日本美術全集』

講談社

一九九二・一〇

高麗時代仏教絵画概説

青丘学術論集

四号

一九九四・三

高麗時代の毘盧舎那仏画像

大和文華

九五号

一九九六・六

調査報告書

対馬美術調査概報

九州文化史研究所紀要 一八号 一九七三・三

熊本・球磨地方美術調査概報 (上)

九州文化史研究所紀要 二八号 一九八三・三

熊本・球磨地方美術調査概報 (下)

九州文化史研究所紀要 二九号 一九八四・三

俊乘房重源関係寺社の仏像調査報告

—山口県佐波郡徳地町における—

九州文化史研究所紀要 三四号 一九八九・三

李朝時代仏教絵画の調査研究—在銘作品を中心として—

研究成果報告書 一九九一・三